

19 高田権現自然環境保全地域



1 地域指定

- (1) 指定地域 高田神社周辺一帯（江戸崎町）
- (2) 指 定 昭和53年9月1日（茨城県告示第1065号）

2 保全計画の概要

(1) 指定理由

本地域は、江戸崎町のほぼ中央をゆるやかに蛇行して、西南より東北に流れて霞ヶ浦に入る小野川の右岸台地の縁にある典型的な傾斜林地で、クロマツ、アカマツ、スギ、スダジイを高木層とする自然林に近い状態を維持した樹林地と、アカマツ林、クヌギ、コナラ等の落葉広葉樹から成る。

低木層には、ミカン科のサンショウやコクサギが多いため、これを食樹とするクロアゲハ、カラスアゲハ、オナガアゲハ等のアゲハチョウの個体数が極めて多い。

また林の周辺部は、クヌギ、コナラを主とする暖地性落葉広葉樹林となっているため、昆虫類も多数生息し、優れた自然環境を形成している。

このため、本地域は、茨城県自然環境保全条例第3条第1項第5号の「植物の自生地、野生動物の生息地」に該当する。

(2) 保全すべき自然環境の特質

ア 植 生

参道及び社殿の周囲は、主としてスギ、ヒノキ、スダジイ、ケヤキ、アカガシ、エノキの巨木からなり、社殿の背後は、樹種も多く、自然林に近い状態となっており、その構造は、次のとおりである。

亜高木層には、ツバキ、スギ、低木層には、エノキ、アオキ、イヌザンショウ、ムラサキシキブ、コマユミ、スダジイ、シラカシ、ネズミモチ、ハゼノキ、タブノキ、ヒサカキ、ガマズミ、ケヤキ、ハリギリ等、草本層には、スダジイ、スギ、モミ、アカガシ、イヌマキ、シロダモ各幼苗、ハナイカダ、ヤツデ、テイカカズラ、フユイチゴ、ヤブコウジ、キツタ、ミゾシダ、ベニシ

ダ、ゼンマイ、ホシダ等が生育している。

本地域の北半をしめる台地の平坦面は、アカマツ林となっており、台地斜面は、アカマツ林のマント群落として、クリ、エゴノキ、クヌギ、コナラ、エノキ、ネムノキ等の落葉樹にスダジイが混じり、さらにムラサキシキブ、イボタノキ、ヒサカキ、ヌルデ等の低木が見られる。

イ 野生動物

シイの巨木を含む常緑広葉樹林にはタブノキが見られ、これを食樹とするアオスジアゲハがきわめて多く、この地域が暖地性の強い地域であることを示している。

これら高木の下には、ミカン科のサンショウやコクサギが多いため、これを食樹とするクロアゲハ、カラスアゲハ、オナガアゲハなど暖帯林に分布の中心をおくチョウが多く見られる。

スギ、ヒノキや常緑広葉樹林内は、ジョロウグモ、ヨツデゴミグモなどのクモ類、朽木や木の根本には、イシノミ、キマワリなど、地表にはマダラカマドウマ、メクラグモ、ニホンヒキガエルなど、落葉や石の下には、ゴミムシ、ハサミムシ、ヤスデ、ムカデ、トビムシの類が見られる。

林の周辺部は一部がクヌギ、コナラを主とする暖地性落葉広葉樹林となっいるため、落葉樹林を好む昆虫類も見られる。

樹液を好むカブトムシ、ノコギリクワガタ、カナブン、スズメバチ、ルリタテハなどや食葉性のコガネムシ、ヒメコガネ、マメコガネ、オトシブミ、ヒメクロオトシブミなどの甲虫類が見られる。エゴノキやヌルデには、県内で産地の少ない南方系の美麗種アカスジキンカメムシが発生している。

鳥類の個体数も多く見られる。

(3) 自然環境の保全に関する基本的な事項

地域全域を普通地区とし、そこに生存する動植物を含む自然環境を維持する。このため保全に必要な規制は条例の定めにより行う。

(4) 保全施設に関する方針

巡視歩道、標識、廃棄物処理施設、植生復元施設、病害虫防除施設、給餌施設、養殖施設などを必要に応じて設ける。

(5) 地区の指定に関する計画

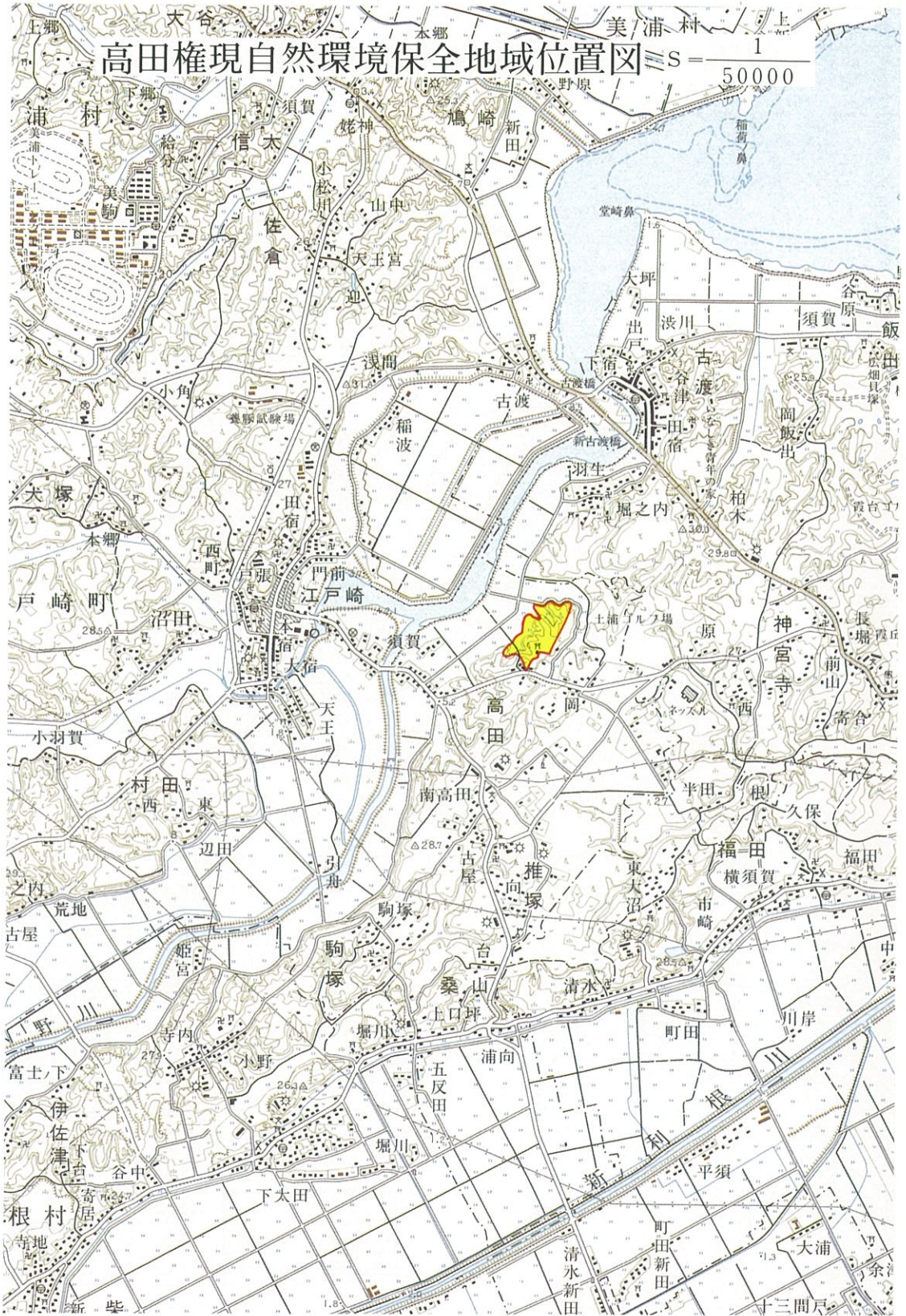
本地域の区域は、次のとおりとする。

名 称	位 置	区 域	総 面 積	土地所有別面積	摘 要
高田権現自然環境保全地域普通地区	稲敷郡江戸崎町高田	稲敷郡江戸崎町高田の一部	ヘクタール 14.74	ヘクタール 私有地 14.74	スギ、スダジイ、クヌギ、コナラ、クロマツなどとチョウ類、鳥類

総 括 表

区 分	特 別 地 区									普 通 地 区			合 計		
	野生動植物保護地区			そ の 他 の 区 域			小 計			国 有 地	公 有 地	民 有 地	国 有 地	公 有 地	民 有 地
所 有 別	国 有 地	公 有 地	民 有 地	国 有 地	公 有 地	民 有 地	国 有 地	公 有 地	民 有 地	国 有 地	公 有 地	民 有 地	国 有 地	公 有 地	民 有 地
所 有 別 面 積 (ヘクタール)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14.74	0	0	14.74
地 区 別 面 積 (ヘクタール)	0			0			0			14.74			14.74		
地 区 別 (パーセント)	(0)			(0)			(0)			(100)			(100)		

(面積は図上測定による概算値である。)



高田権現自然環境保全地域区域図

$$S = \frac{1}{5000}$$

